



# 環境史から 考える 近代アジア

聴講無料・要申込  
定員200名(申込順)

ー成長パラダイムから持続性パラダイムへー

2016年 11月 28日(月)  
18:30 ~ 20:00  
受付開始 18:00

ハートピア京都3階大会議室

アジアの近代経済成長はいかなる環境的基盤のもとに達成されたのでしょうか。最初に高度成長を経験したのは日本、韓国、台湾など太平洋の西岸に位置する国々でした。原油などを輸入できる港湾を建設し、その近くに工業地帯を作り、そこに多くの人口を集中させました。労働力の質を高め、競争力のある工業品を輸出して外貨を稼げば、必要な資源・エネルギーを確保することができたわけです。東南アジアのいくつかの国と中国の沿岸部もこれらの地域に続いて発展しました。

しかし、このような化石資源と労働の集中的な組み合わせは、開発主義国家が作り出したものです。工業地帯に労働、食糧、水、電気などを供給する周辺地域や生態系にも十分配慮した戦略だったわけではありません。このセミナーでは、膨大な人口を維持してきたモンスーンアジア地域の歴史を振り返りつつ、経済発展を環境の持続性とどのように両立させていけばよいかを考えたいと思います。



すぎはら かおる  
講師：杉原 薫  
地球研 特任教授・プログラムディレクター



かまたに  
聞き手：鎌谷 かおる  
地球研 プロジェクト研究員

## お申込み

※配信用に  
ビデオ撮影を行ないます

聴講希望の方は、開催日、お名前、連絡先を記入のうえ、  
メール・電話・FAXにて右記までお申込みください。

総合地球環境学研究所 広報室

TEL. 075-707-2128  
FAX. 075-707-2106  
E-mail. shimin-seminar@chikyu.ac.jp

## 【主催】



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所  
Research Institute for Humanity and Nature  
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4  
http://www.chikyu.ac.jp

## 【後援】

京都府

京都府立総合社会福祉会館  
会場 ハートピア京都

〒604-0874  
京都市中京区竹屋町通烏丸東入の清水町375番地

市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口すぐ  
ご来場に際しては市バス・地下鉄等公共交通機関をご利用  
ください。

